

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和3年2月20日

公表:令和3年2月26日

事業所名 こどもみらい園ぼぼらす

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	備考
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			十分な広さを確保できている
	2	職員の配置数は適切である	7			職員配置は法令を遵守している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			フロア内の段差の解消、トイレの手すり設置等のバリアフリー化を行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			定期的にミーティングを開催している。利用児の午睡時間を利用し、パート職員も話し合いに参加できるようになった。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			ご意見としていただいたものには、改善案を検討している。意見箱を設置している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		今回2回目の公開となります。前回から改善できた部分があれば、至らない部分もあります。今後も子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所が提供できるよう努めてまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		現在第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	1	個人参加の外部研修だけでなく、ミーティングの時間などを活用し、職員同士で高め合っていける環境を作っていけるよう努めます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			日頃より、保護者の方からお話を伺い、児童の様子を評価、お伝えしながら立案を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		現在は使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			担当者会議を導入し、全員で現状を把握しながら支援ができる体制を作っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			児童の利用頻度にもバラツキがあるため、それに合わせた遊びや制作、活動を計画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		児童の利用頻度にもバラツキがあるため、それに合わせた遊びや制作、活動を計画している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7			利用時間に応じて、活動と休憩のメリハリをつけ、楽しく過ごすことができるように配慮している。利用時間が長い日は、イベントや外出などが企画できると良い。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			職員同士の報告・連絡・相談をより緊密に行っていききたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			職員同士の報告・連絡・相談をより緊密に行っていききたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			活動記録、看護記録を残し、情報の共有、支援内容の向上に努めている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		定期的なモニタリングの他に、ライフステージ等の状況の変化に応じて見直し・立案を行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	1		肢体不自由児が多いため、活動内容は楽しめるよう工夫して行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			職員から情報収集を行い、主に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			保護者様に確認をした上で、情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			母体がクリニックであるため、いつでも連絡・受診が可能である。カルテにも主治医が書いてあり、相談できる状態になっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		就学前の利用施設とは連絡をとれていない。
	24	字校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3		現状該当がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		全ての職員ではないが、研修や会議への参加を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	1	・コロナ禍で難しい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6	1	今後参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			利用日の送迎時に、その日の様子をお伝えし、気になる点について確認を取っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	1	ペアレント・トレーニングについては今後実施していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時にご説明している。変更点があった場合には、その都度ご説明し、書面をお渡ししている。必要に応じて同意書もいただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			悩みやご意見を傾聴し、必要に応じて助言等を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	1	現在保護者会は開催できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			可能な限り迅速に対応できるよう連絡体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			活動の様子や次月の予定などをおたよりで毎月お知らせしている
	35	個人情報に十分注意している	7			おたよりなどの写真掲載などは同意を得て行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			話せない児童には、体調の変化やその日の様子を、より詳しく伝えるようにしている。個々の能力に合わせて絵カードの準備や、質問の方法を工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	1	地域との交流はできていないが、自治会の方にはご理解をいただいている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	マニュアルは策定済み。今後保護者様や職員が自由に閲覧できるようにする予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	月1回の避難訓練、年2回の通報訓練も含めた総合訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	セルフチェック実施。研修への参加や伝達講習を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	児童や保護者様への説明を行い、同意を得て実施している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		成長に合わせてアレルギーの確認を定期的に行うとともに、献立表を配布し、食事内容の確認を保護者様にさせていただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		事業所内での転倒事故等も含め、ミーティングにて検討、共有を図っている。